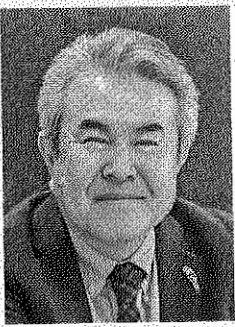


新ケミカル商事 上田 幸二郎社長

建材や化学品、樹脂など5つのセグメントを取り扱う新ケミカル商事(福岡県北九州市)は、スラグ付加価値の向上を図るため高炉セメントやエスメント、路盤材などセメント以外の環境負荷低減製品の普及・拡大を図っている。2023年度には中長期経営計画「NCT/ムーンショット計画」を策定し、30年度にグループ連結売上高1500億円(そのうち建材セグメント420億円)を掲げる。4月1日付で社長に就任した上田幸二郎氏は、その計画達成に向け様々な施策を展開。「当社の『あるべき姿』の実現を目指し、失敗を恐れず変革に挑戦してほしい」と話す。上田社長に現状や今後の展望をお聞きした。

——社長就任にあたっての抱負について。

上田社長 25年度で2年目を迎える中長期経営計画「NCT/ムーンショット計画」の各プロシエクトは順調に進ちよくしており、今後も着実に迅速に進めていく。中計は、30年度までに売上高1500億円、ROS(売上高経常利益率)3%以上など当社の道筋を示したものであるため、



——昨年に設立20周年を迎えた。20年間の所感と24年度の業績は。

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

失敗恐れず変革を

中長期的な成長に軸足

倉(福岡県)で構成し、セメントや生コンなどの販売、床や杭の工事などに対応している。また、スラグの付加価値向上を掲げており、環境負荷低減につながる高炉セメント、エスメント、路盤材等の普及を推進している。

——グループの再編が

たことで、5セグメント体制へのグループ内の再編が完了した。これにより、各セグメントの事業が整理され、迅速な遂行が可能となる体制を構築することができた。

——サステナビリティの推進やグループガバナンスの強化、女性活躍、ダイバーシティの推進など

部を新設し、グループ全体のリスクマネジメントを本格的に強化している。

——人材の確保・育成に向けた取り組みは。

上田社長 中長期的な成長を遂げるには、継続的な人材の確保・育成が欠かせないため、24年度に新卒採用を開始した。その結果、24年度に3人、25年度に4人の新卒者を採用できており、26年度以降も着実に新卒採用を行う予定だ。45〜55歳の年齢層が全社員の40%を占めることから、40歳以下の採用を強化し、円滑な世代交代を図って

上田社長 24年度のグループ連結売上高のうち、建材セグメントの売上高は約3分の1を占めている。既に30年度の目標とする420億円に近

上田社長 グループのサステナビリティを担保するには、まずはリスクマネジメントを整えるべきと考えている。近年、

上田社長 今後の成長に必要なM&A等の投資を今後も積極的に実施していく。M&Aと

上田社長 今後の成長に必要なM&A等の投資を今後も積極的に実施していく。M&Aと

上田社長 今後の成長に必要なM&A等の投資を今後も積極的に実施していく。M&Aと

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって

上田社長 24年度のグループ連結売上高は、創設時の4倍にあたる1000億円を突破し、着実に成長を遂げるとともに、グループ内の体制再編が完了した年となった。これも、創業時から今まで関わって